

平成 30 年 11 月 12 日（月）にグランフロント大阪にて、けいはんな R&D イノベーションフォーラム 2018 を開催しました。

実施日時	平成 30（2018）年 11 月 12 日（月）13:00～16:30
実施場所	グランフロント大阪北館タワーC8 階 ナレッジキャピタルカンファレンスルームタワーC Room C01+02 （大阪市北区大深町 3-1）
次第	
13:00-13:10	開会挨拶
13:10-13:40	・コンソーシアム活動状況について ーけいはんな公道走行実証実験プラットフォーム他 丸野進 RDMM 支援センター長
13:40-14:40	・日 ASEAN 科学技術イノベーション共同研究拠点(JASTIP)の活動 ー国際共同研究を起点とした民間企業との連携および人材育成 福原 隆一氏 JASTIP プログラム・コーディネーター
14:40-14:55	Coffee Break
14:55-16:25	・タイ連携拠点 The Northern Science Park (NSP)の活動 ーNSP における産業創造活動の紹介と海外連携・企業支援のしくみー <b>Dr. Pitiwat Wattanachai</b> the deputy director, responsible for science park infrastructure and utilization ー日本との拠点間連携を通じた人材交流と事業創出ー <b>Dr. Kasemsak Uthaichana</b> the deputy director, responsible for science park's technology business incubation program
16:25-16:30	閉会御礼 中川 雅永 関西文化学術研究都市推進機構 常務理事

けいはんな R&D コンソーシアム中間報告会の公開フォーラムでは、会員及び一般の方々を含め参加者は 73 名に達しました。冒頭において、丸野 RDMM 支援センター長よりコンソーシアム活動とその成果に関する一般向けの紹介が行われた後、「『関西・アセアン・環インド洋連携拠点』をめざして」をテーマに3名の招待者よりご講演を戴きました。



JASTIPの福原氏からは、JASTIPの取組やASEAN市場の最前線情報、SDGs達成に向けた各国の取組などの紹介があり、タイCMU/STePのDr. Wattanachaiからは、タイ北部地域の新産業創出を担うノーザンサイエンスパーク(NSP)の活動についての紹介が、Dr. Uthaichanaからは、タイにおける技術スタートアップ支援の仕組みの紹介と人材交流の提案などが講演の中で取り上げられました。

参加者からは、それぞれが興味のある技術内容に対して熱心な質問があり、今後 タイ NSP や ASEAN 各国との拠点連携の進展が期待されるフォーラムとなりました。



JASTIP 福原隆一氏



NSP Dr. Pitiwat Wattanachai



NSP Dr. Kasemsak Uthaichana